

神戸市 教育委員会だより

2026年7月発行

発行
神戸市教育委員会

KOBE

部活動から「KOBE◆KATSU」へ

神戸市では、2026年9月の「KOBE◆KATSU」開始に向けて、取組を進めています。

コベカツサポートへの登録

保護者会費負担の軽減と、コベカツクラブの運営支援を目的に、会費決済と連絡の機能を備えたスマホアプリ「コベカツサポート」の利用登録を開始します。

■会費決済機能

神戸市立中学生1人当たり、月1,500円分(就学援助世帯は月3,000円分)のポイントを受け取ることができ、会費の支払いに利用できます。

※体験入会ではご利用いただけませんのでご注意ください。

7月中旬

「コベカツサポート」
利用申請書類を配布
(学校から)

8月初旬

保護者の利用申請
(ポイント受け取り)
開始

8月中旬

参加する
コベカツクラブを
登録

9月

「コベカツサポート」
の運用開始

■連絡機能

- 各クラブから、生徒・保護者へお知らせができます。(掲示板機能)
- 各クラブにおいて生徒ごとの参加または活動終了の入力をしたタイミングで、保護者にお知らせが届きます。(参加・活動終了の通知機能)



体験入会が始まります！ぜひご参加ください

実際にコベカツクラブが登録されている中学校等で体験入会を実施します。期間は7月18日(土)から8月31日(月)です。期間中、数回の活動から定期的な活動まで、各クラブが工夫しながら実施しており、複数の体験入会に参加することも可能です。参加無料のクラブも多数ありますので、この機会にぜひご参加ください。

活動によっては、参加費が必要となる場合があります。詳細は右の「体験入会詳細」の二次元コードをご確認ください。

※中体連の大会(新人戦)への出場を希望する場合は、選手登録が必要となりますので、8月中旬までにコベカツクラブへ入会届をご提出ください。

●体験入会の申込

コベカツクラブ
活動紹介ページ



クラブを検索

各クラブの
「入会方法」を
ご確認ください

各クラブへ直接
お問い合わせ

神戸市立中学生の保険申請をお願いします

体験入会への参加には、保険加入が必須です。神戸市立中学生の保険加入については、教育委員会が保護者からの申請を取りまとめます(ご家庭の負担はありません)。保険は体験入会だけでなく、9月以降のすべての活動が対象となります。詳細は右の二次元コードよりご確認ください。



夏休みにこそ、ドリルパーク！

学習用タブレット(iPad)を使うことで、子供一人ひとりに合った「じぶん学習」を実現できます。

■子供の実情に合った学び

- ・小学校1年生から中学校3年生までの問題が10万題以上収録されており、随時問題を追加しています。
- ・1学期の振り返りや、2学期の準備だけでなく、所属する学年にとらわれない予習・復習もできます。

■得意・不得意で学びを最適化

- ・「AIドリル」では、取り組んだ問題について解答にかかった時間や正答状況が分析され、一人ひとりに合った問題が出題されます。
- ・問題を解くほど、子供の得意・不得意な分野が分かり、その分野に集中して取り組むことができます。

学習用タブレットの利用に関するQ&A

Q ドリルパークはオフラインでも学習できるの？

A 一部機能では、問題を事前にダウンロードすることで、オフライン学習が可能になります。



Q 閲覧できるサイト・アプリの制限はどうなっているの？

A 教育委員会事務局では、学習に不必要と判断したサイトの制限をしています。日々増えていく新しいサービスについても、必要に応じてアクセス制限を行っていきます。
また、ペアレンタルコントロールを用いて、アプリの利用時間を制限できます。ご家庭での利用に関するご相談があれば、学校または教育委員会事務局までお願いいたします。

理系人材の育成

文部科学省より「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」の指定を受けた高等学校において事業を実施しています。情報・理数教育におけるICT活用、探究学習を取り入れた教育に力を入れています。

神戸市内DXハイスクール各校の取組

	科学技術高校	神戸工科高校	葺合高校
実施項目	DX時代に適応した 職業人材育成	メタバース空間構築による 情報活用能力の醸成	データサイエンスによる 協働学習の実施
取組計画	・エッジAIによるロボティクス開発 ・メディアリテラシー教育の充実	・メタバース構築に必要な3Dモデリングやプログラミングの学習の実施 ・ものづくりラボ開設と中高連携 ・専門講師による授業の実施	・情報IIの開講 ・グローバル人材育成に向けた海外現地校との交流プログラムの開発 ・ラーニングコモンズの整備

体力向上に向けて～体力調査デジタル集計システムの活用～

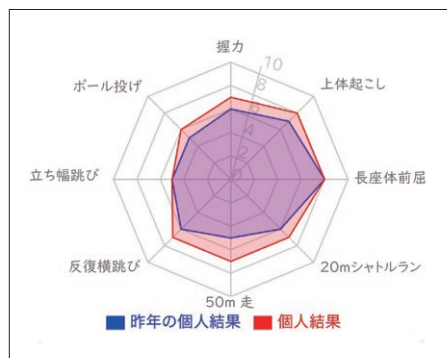
学習用タブレットを利用して、子供の目標に合わせた運動や遊びが実現できます。

体力調査デジタル集計システム (ALPHA) とは

小学校4～6年生が新体力テストの結果を入力し、子供の体力をレーダーチャートやグラフで可視化できるシステムです。

ALPHAを活用した新体力テスト (1学期)

子供たちは元オリンピック選手によるお手本となる「運動動画」を見て、各種目の体の使い方のコツを知り、測定に臨みました。



●測定後の子供たちの声

- ・コツが分かって力を出し切れた気がする。
- ・すぐにレーダーの形で結果を見て、分かりやすかった。
- ・もっと休み時間に外で遊びと思った。普段と違う遊びもしようと思った。



ALPHAの活用方法

動画コンテンツの視聴

運動を楽しむための動画も公開しています。ご家族でご覧ください。



▲神戸市内のラグビートーム「コベルコ神戸スティーラーズ」の選手による動画

新体力テストの測定結果の入力

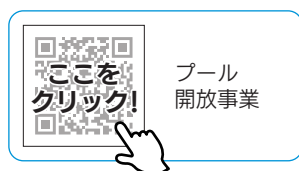
新体力テストの種目などを継続的に入力して体力の変化を見ることができます。

(測定結果の入力例)

- ・家庭で行った上体起こしなど
- ・全校で取り組む50m走
- ・休み時間中の立ち幅跳びチャレンジ

夏休みにプールに行こう!

神戸市立の小学校に通う児童に、対象のプール約30か所で利用できる「プール利用チケット」を学校経由で6月末に配布しています。この機会に、プールをご利用ください。
詳細は神戸市ホームページをご確認ください。



カスタマーハラスメント対策

教育委員会では、「神戸市カスタマーハラスメント対策基本方針」に基づき、カスタマーハラスメント対策に取り組んでいます。暴力や暴言、長時間・繰り返しの対応要求等があると、教職員が心身に負担を感じ、学校園の運営に影響が出てしまうことがあります。対応の打ち切りや警察への通報も含めて毅然と対応しますので、皆さまのご理解をお願いします。

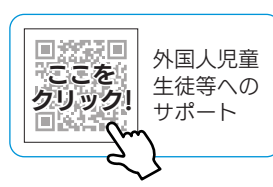


カスタマーハラスメントに該当する行為例

- ・感情的になり大声を出す、拳を振り上げるなど威圧的な言動を行う
- ・「アホ」「ボケ」などの暴言を吐く
- ・既に学校から回答している内容について、執拗に繰り返しの対応を求める
- ・「22時に家に来い」「特別な扱いをしろ」など、過度な要求を行う

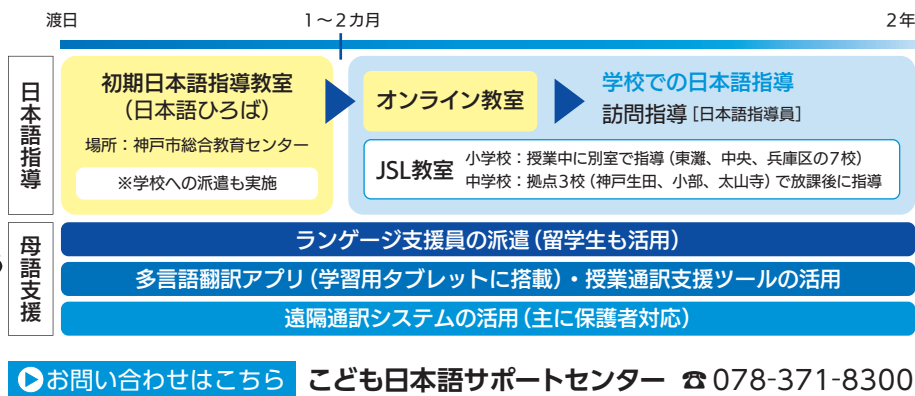
外国人児童生徒等への日本語指導支援

神戸市内の日本語指導を必要とする児童生徒数は年々増加し、日本語指導の需要は高まっています。神戸市では、このような児童生徒等が学校生活に早く適応し、安心して学校生活を送れるように、「こども日本語サポートセンター」を設置しています。必要最低限の日本語を学べる「日本語ひろば」をはじめ、継続的な支援を実施しています。



「こども日本語サポートセンター」での支援

日本語ひろばでは、「職員室」「わかりません」など、学校で使う名称や、思いを伝えるための基本的な日本語を学べるよ！



●日本語ひろば受講者の声

- ・日本語でコミュニケーションを取ろうと思えるようになった。
- ・学校でも日本語をもっと覚えたい。
- ・学校の先生に「日本語上手だね」と言われた。



教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」へ

お困りごとポスト

